



青森県感染症発生情報 (2024年第52週)

I 第52週の発生動向 (2024/12/23~2024/12/29)

- インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内及び上十三保健所管内の定点当たり報告数が注意報レベルから**警報レベル**となりました。また、五所川原保健所管内及びむつ保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。弘前保健所管内では**注意報**が継続しています。
- 手足口病については、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。
- 伝染性紅斑については、東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内及びむつ保健所管内で**警報**が継続しています。
- 新型コロナウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数の増加が継続していますので、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

II 第52週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	636	53.00	171	14.25	505	42.08	118	16.86	463	51.44	85	14.17	1978	34.10	1065
	新型コロナウイルス感染症	91	7.58	72	6.00	121	10.08	67	9.57	86	9.56	61	10.17	498	8.59	121
小児科	RSウイルス感染症	2	0.29			8	1.14	1	0.20	1	0.17	3	0.75	15	0.41	8
	咽頭結膜熱	4	0.57	5	0.63	6	0.86	8	1.60			1	0.25	24	0.65	8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.57	11	1.38	9	1.29	14	2.80	6	1.00	6	1.50	50	1.35	2
	感染性胃腸炎	9	1.29	14	1.75	113	16.14	10	2.00	18	3.00	5	1.25	169	4.57	26
	水痘	3	0.43	1	0.13	3	0.43							7	0.19	-3
	手足口病	9	1.29	4	0.50	9	1.29			16	2.67	4	1.00	42	1.14	-11
	伝染性紅斑	36	5.14	10	1.25	18	2.57	1	0.20	24	4.00	17	4.25	106	2.86	13
	突発性発しん	7	1.00	6	0.75	3	0.43	2	0.40	1	0.17			19	0.51	12
	ヘルパンギーナ															-1
	流行性耳下腺炎															-1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎							1	1.00	1	0.50			2	0.20	2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎									1	1.00			1	0.17	0
	マイコプラズマ肺炎	5	5.00	2	2.00	1	1.00	5	5.00	1	1.00	13	13.00	27	4.50	3
	無菌性髄膜炎															0

感染症の窓

麻しん

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが現れます。また、肺炎、中耳炎を合併しやすく、死亡する割合は先進国であっても千人に1人とされています。

日本は平成27年3月にWHOにより、麻しんの排除状態にあることが認定されており、排除後は海外からの輸入例と輸入例からの感染事例のみを認める状況となっています。一方、アジアやアフリカ諸国の中には現在も報告数が多い国がありますので、同地域に渡航する際は注意する必要があります。

麻しんウイルスは感染力が強いため、手洗いやマスクのみで予防することは難しく、ワクチン接種が最も有効な予防法です。定期接種の対象年齢である子どもの保護者の方は、かかりつけ医に相談のうえ、接種の検討をお願いします。また、定期接種対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合は、予防接種の検討をお願いします。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [麻しんについて\(厚生労働省 HP\)](#)



【出国前の注意事項】

「麻しん(はしか)」は 世界で流行している感染症です。

海外に行く方で、麻しん(はしか)にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に

☑ 麻しんの予防接種歴を母子手帳などで確認しましょう
☑ 2回接種していない方は、予防接種を検討してください

世界における麻しんの流行状況
(令和5年1月~令和5年12月)

国名	報告数	A1220097A 高たりの 報告数
イエメン	47787	1386.57
アゼルバイジャン	13735	1319.07
キルギスタン	13195	1045.83
カザフスタン	15111	770.71
リビア	3910	721.42
リベリア	1201	493.91
中央アフリカ	1534	287.14
カメルーン	6101	212.97
イタリ	9267	205.88
アルメニア	554	199.43

出典：WHO(世界保健機関)麻しん、人口10万人あたり報告率
(令和5年1月~令和5年12月)
<https://www.who.int/emergencies/diseases/mesles-and-measles/situation-reports>

出典：厚生労働省 HP

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核(二類感染症)：弘前1人 (2024年計：121人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類感染症)：弘前1人 (2024年計：16人)
- ・百日咳(五類感染症)：青森市1人、弘前1人、八戸市1人、むつ2人 (2024年計：65人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日 報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2024年第48週～)

・第52週の患者報告数は1978人であり、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1894人【A型：1890人、B型：4人】でした。

保健所管内別報告数(人)

保健所名	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市	12	35	107	343	636			
弘前	27	25	90	138	171			
三戸地方+八戸市	40	82	104	179	505			
五所川原	6	2	10	33	118			
上十三	17	68	114	183	463			
むつ	13	20	17	37	85			
合計	115	232	442	913	1978			

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市	12	34	105	329	606			
弘前	27	25	90	138	171			
三戸地方+八戸市	39	80	103	178	494			
五所川原	6	2	10	32	114			
上十三	17	65	101	166	429			
むつ	12	14	15	29	76			
合計	113	220	424	872	1890			

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

保健所名	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
東地方+青森市		1		2				
弘前								
三戸地方+八戸市				1				
五所川原				1	4			
上十三				1				
むつ								
合計		1		5	4			

年齢区分別(人)

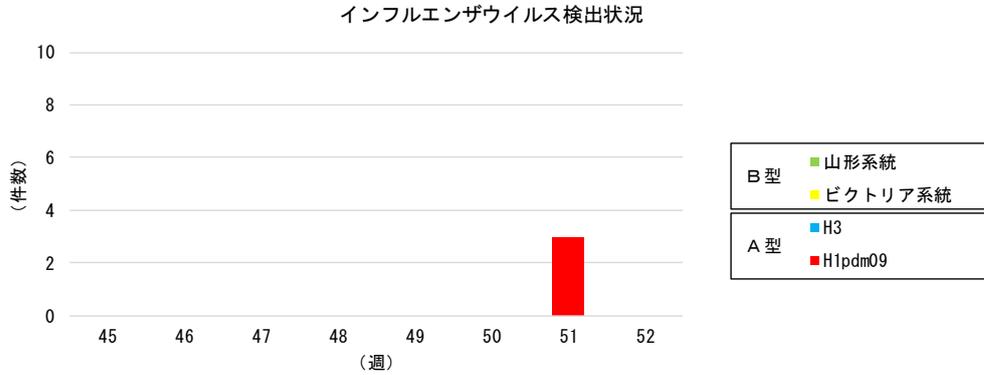
年齢区分	2024年					2025年		
	48	49	50	51	52	1	2	3
～5ヶ月		1	3	2	8			
～11ヶ月		1	3	13	15			
1歳	5	3	4	24	66			
2歳	2	2	8	24	80			
3歳	5	2	12	17	78			
4歳	6	7	14	27	89			
5歳	7	11	20	36	76			
6歳	12	9	23	67	87			
7歳	7	13	29	46	102			
8歳	7	20	25	53	106			
9歳	6	12	30	55	76			
10～14歳	15	61	119	203	249			
15～19歳	8	34	22	70	143			
20～29歳	6	6	10	19	90			
30～39歳	3	16	29	46	124			
40～49歳	11	12	21	57	200			
50～59歳	2	7	25	61	159			
60～69歳	4	9	12	31	89			
70～79歳	2	3	14	28	74			
80歳以上	7	3	19	34	67			
合計	115	232	442	913	1978			

VI 県内インフルエンザウイルス検出情報（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2024年								直近5週間 合計	2024/2025 シーズン 合計
		45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週		
提出検体数		0	0	0	0	0	0	3	3 (3)	6 (3)	6 (3)
A型	H1pdm09							3		3	3
	H3									0	0
B型	ビクトリア系統									0	0
	山形系統									0	0
合計		0	0	0	0	0	0	3	0	3	3

注1) 2024/2025シーズンは2024年第36週（9/2～9/8）～2025年第35週（8/25～8/31）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2024年第49週～2024年第52週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
49	梅毒1人 日本紅斑熱1人		つつが虫病1人 梅毒1人	梅毒1人	百日咳1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	百日咳1人
50	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人		百日咳1人	
51	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感 染症1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1 百日咳1人	レジオネラ症1人			侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳2人	
52	百日咳1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 百日咳1人	百日咳1人			百日咳2人

第50週に八戸市保健所管内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、第51週に青森市保健所管内で百日咳1人の届出がありましたので追記しました。

VIII 結核(二類感染症)（2024年第49週～2024年第52週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
49		1		1		
50	1	1	1			
51		1	2	1		
52		1				

第51週に八戸市保健所管内で1人の届出がありましたので追記しました。

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第51週までの累計）

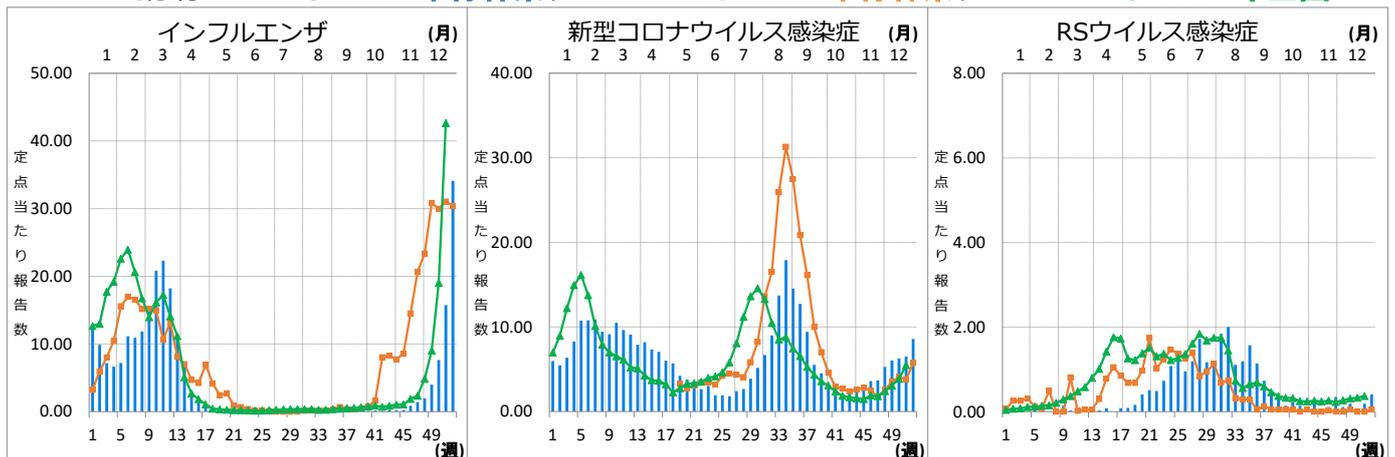
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス
累積報告数	15610	2	72	3711	42	7	506	137	16	19
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
累積報告数	4	11	6	4	4	120	2	10	323	229
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	520	9	5	7	45	25	2	2376	53	504
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	222	2238	45	574	27	165	1856	966	39	618
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	65	2431	477	14369	185	85	120	3869	6	45
分類	五類									
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
累積報告数	6									

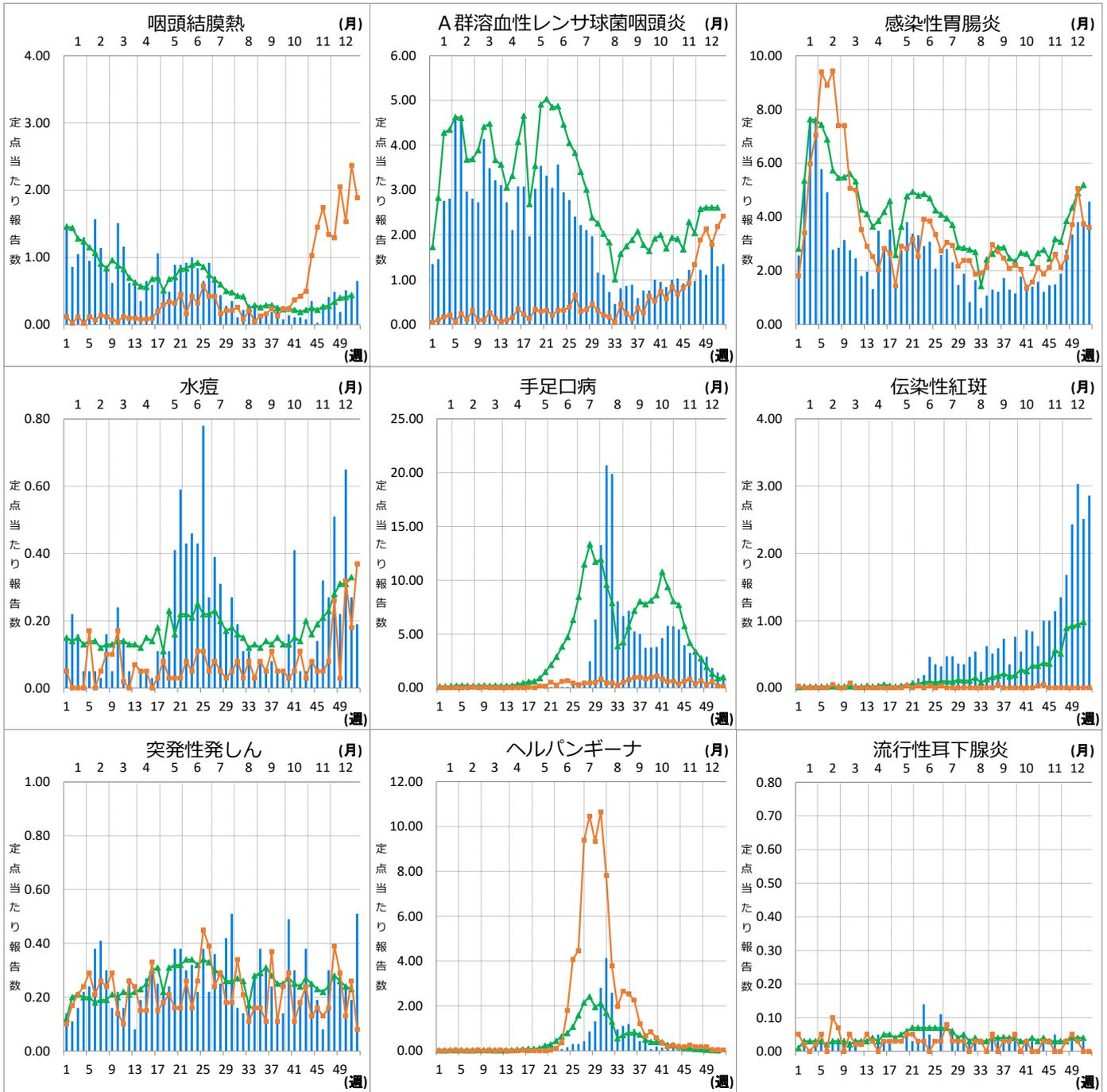
青森県（2024年第1週～第52週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	121	26	2	14	2	18	2	32	3	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳	
累積報告数	7	16	2	4	34	5	29	2	65	

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024年第52週、ただし全国は前週）

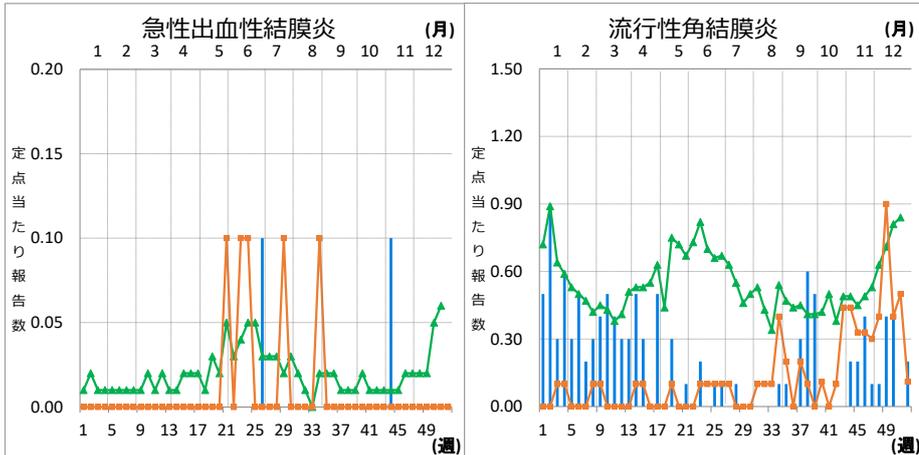
グラフの説明 ← は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国





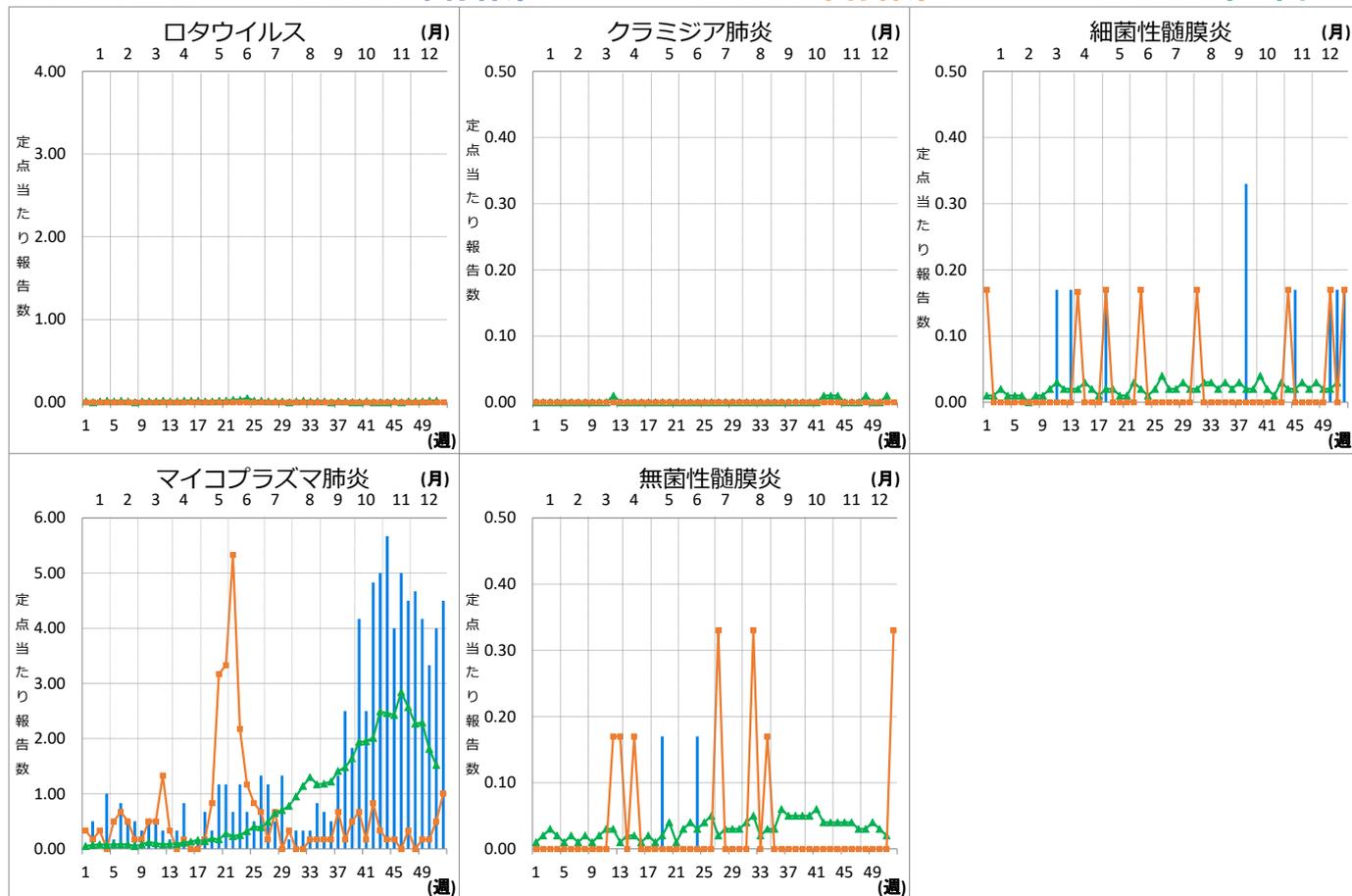
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第52週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ← 青は2024年青森県、オレンジは2023年青森県、緑は2024年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2024年第52週、ただし全国は前週）

グラフの説明 青線は2024年青森県、オレンジ線は2023年青森県、緑線は2024年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2024年第52週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第52週	児童・婦人関係施設等	16	八戸市保健所管内

2024年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				計 (施設別)	
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44-47週	48週	49週	50週	51週		52週
介護・老人福祉関係施設	件数	4	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	発症者数	78	101	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	195
児童・婦人関係施設等	件数	9	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2	1	17
	発症者数	178	0	17	15	0	0	0	0	10	0	0	0	0	55	77	16	368
障がい関係施設	件数	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	発症者数	55	0	12	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	16	7	3	1	0	1	0	0	1	0	0	5				34	
	発症者数	311	101	45	15	0	12	0	0	10	0	0	148				642	